

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市芦の口児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 15,549人(前年度比 101.3%) ・令和4年度 15,357人 ・令和3年度 10,847人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 35,637千円 (35,362千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 また、おやつのお味の工夫を工夫することで、子ども自身が生活を組み立てたり、相手の意見を尊重する等社会性を育てるとともに居室の有効活用を図ることで子どもの生活が豊かになるよう努めた。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>令和5年度も引き続き「保護者支援」をテーマに児童館・児童クラブ運営に取り組みました■児童健全育成事業■自由来館の小学生が増え、児童クラブの児童と仲良く遊ぶ姿が見られました。特に毎月1回土曜日に実施している「やってみよう」や4年生以上対象の「エンジョイサタデー」では作る、食べる、遊ぶなどに挑戦する体験を通して子ども同士や子どもと職員の交流を図る良い機会になりました。■子育て支援事業■助産師さんの子育て個別相談「ことりる一む」では相談にのりながら、日々子育てに励んでいる保護者に寄り添い励ましてきました。また、月に1～2回の乳幼児親子対象の行事は参加組数を決め予約制で行いました。保護者支援の一環としての「ゆきちゃんのヨガタイム」は子育て中の方がリフレッシュして子育てに向かう時間として好評でした。■地域交流推進事業■子育て支援クラブ「あしっこ」は行事の主催や児童館との共催行事を行う他、「野菜・花育て隊」を毎週水曜日に実施し種まきから生育と収穫を一緒に楽しみ、「ヨガ」やその他の乳幼児親子行事では見守り託児を職員と一緒にいき、時には子育て相談など児童館を利用する方々と積極的に関わっていただきました。また、地域のバイオリニストの方のコンサートを企画した際には近隣の保育園園児を招待し、交流をはかりました。■放課後健全育成事業■児童が安心して過ごせる物的・人的環境を整えるにはまず子ども理解との考えから、「子どもアンケート」「おしゃべりサロン」の実施や保護者と職員が行う「保護者面談」、保護者会主催の保護者同士の交流を目的とした「親子レクリエーション」など子どもを真ん中に大人がつかぬことを重要視してきました。また長期休業日は、上学年は小学校の教室や校庭、体育館を借りたり、担任との面談や情報交換をしながら支援の協力体制を築きました。今後も地域と連携した運営を行います。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、コマ回しやけん玉、一輪車など様々な遊びを通して、子ども達の意欲や自信、自己肯定感を育んでいる。また土曜日に制作やクッキングなど豊富な体験プログラムを提供する「やってみよう」や「エンジョイサタデー」を実施し、自由来館の利用増加に繋がっている。子ども達の仲間作りや地域における居場所作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「まめっちょひろば」や「グリンピースサロン」で制作やわらべ歌、親子ヨガなど様々なプログラムを提供している。保護者向けに歯科医師の話やベビータッチングケアなども実施し、保護者が子育ての情報を得たり、参加者同士の交流の場にもなっている。また、「ことりる一む」では地域の助産師の協力を得て個別の子育て相談を定期的に開催している。地域の関係者と積極的に連携を図りながら、子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、小学校おやじの会と一緒に「オヤジフェス」や「オヤジジピック」を企画して参加したり、町内のお祭りに児童館として職員や子ども達が参加する等、地域に根付いた活動への積極的な関わりを継続している。また、地域の方々の指導を受けたヨガやおはなし会、子育て支援クラブと共催して「野菜や花そだて隊」を年間通して実施する等、地域全体で子どもの育ちを支える環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「子どもアンケート」を実施したり、職員と子どもが個別に話をする「おしゃべりサロン」を実施し、子ども一人一人が安心して過ごせる場となるよう環境を整えている。また、こま検定やあやとり検定など子どもが挑戦して楽しむ遊びや、屋外で遊ぶ時間を多く設定する等、屋内外共に子どもが過ごす空間や時間に配慮し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるような支援に取り組んでいる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課